

APrIGF 2015 概要報告

日本インターネットガバナンス会議
2015年7月28日

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)
高松 百合 takamatsu@jprs.co.jp

APrIGFとは

- 正式名称
 - Asia Pacific regional Internet Governance Forum
- APrIGFとは？
 - 初開催は2010年@香港
 - 2011年@シンガポール、2012年@東京、2013年@ソウル、2014年デリー
 - 国連のIGF(以降、Global IGF)と明示的な関係は無い
 - 各国のnational (local) IGFも同様
 - ボランタリーな集まり
- 今回の開催概要
 - 日時:7月1日(水)~3日(金)
 - 会場:Macau University of Science & Technology, Macao
 - ローカルホスト:HNET.Asia(MONIC)

プログラム全体概要

- プログラムは一般公募の後、プログラム委員会が選定
 - 応募数76
 - 3日間で31のWorkshopを実施
- 全体概要
 - Main Theme:
 - Evolution of Internet Governance: Empowering Sustainable Development
 - Youth IGF
 - Outcome Document作成への試み

いくつかのセッション紹介

- A Multi-stakeholder, cross-community case study (Internationalised Domain Names)
 - JPRSの堀田がパネルモデレータ
 - 中国・日本・韓国の漢字に関する各Root Zone Generation Label Rules (Root LGR) 検討状況や特徴を各言語の検討チームから紹介
 - 各LGRのルールを漢字コミュニティとして統一する調整の中で直面している課題や今後の展望を紹介
- Localising Internet governance: Making multi-stakeholder collaboration work at the national level
 - 各国・地域でのインターネットガバナンス議論の場と活動を紹介(日本からJPNIC前村氏がパネリストとして参加)
 - IGCJの定常的な開催と参加者数について賞賛を得た

今回の新たな試み

- Outcome Documentの作成
 - APriGF参加者の共通認識(コンセンサスが取れた内容)の文書化が事務局より提案される
 - APriGF チェアのPaul Wilson、事務局長のEdmon Chung(DotAsia)と参加者で内容や文書作成そのものに対する意見交換を実施
 - 意見交換の結果、APriGF期間中の完成を断念
 - 結果
 - APriGF期間中に参加者から収集した意見を元に Drafting TeamがSYNTHESIS DOCUMENT案を公開
 - 8月4日まで上記文書に対する意見募集を実施
 - 意見集約後、最終版は8月14日完成予定

今後の予定

- 2016年の開催地予定
 - 期間: 7月27日～29日
 - 場所: 台湾(台北)